

寺井 紗知子 議員

ストレス社会といわれている現代 こころの健康を保つことが重要

Q 問 市民や職員のこころの健康への取り組みはどうか。

A 答 市民には、講演会や心の健康教室の開催、相談窓口の充実を、職員には、メンタルヘルス研修の実施、カウンセリング事業を実施している。

幼保一元化に向けて 「(仮称)こども課」設置は必要

Q 問 市長部局と教育委員会で、関係する窓口を一本化していくことはどうか。

A 答 市長部局と教育委員会部局では、根本的な考え方が少し違う。今後、充分検討していきたい。

「駅南地区まちづくり」の治水対策に 「水の公園」構想策定を

Q 問 かねてより、公園や調整池の必要性がいわれている当地区への公園構想策定を早急にされたい。

A 答 治水面や親水の視点から有効であると考えている。各種計画との整合を図りながら、整備計画を策定していきたい。



11月4日に開催される「健康づくり講演会」

久保田 龍平 議員

企業誘致に向けた提案と 地元住民の採用

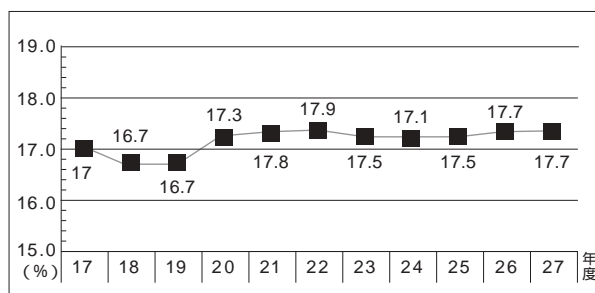
Q 問 県職・企業OBの非常勤職員採用、交流会・顕彰会の発足を提案する。また、誘致企業の地元住民の採用状況はどうか。

A 答 企業誘致に向けて、専門的知識やノウハウを持った県や企業OBを非常勤職員として採用することや、協力的なつながりを持つことなどについては考えなければならない。また、交流会等も考えたい。誘致企業には、引き続き地元からの採用をお願いするとともに、地域に根づいた企業活動を支援したい。

市財政をどう評価しているか

Q 問 実質公債費比率、経常収支比率、経常一般財源比率の見通しと評価はどうか。

A 答 18年度の実質公債費比率は16.7%で、起債借り入れ制限の18%未満。経常収支比率は80.7%で財政の硬直化を示す数値ではない。経常一般財源比率は99.9%であった。今後も、社会経済情勢等を踏まえながら、財政見通しの進行管理を行い、健全な財政の維持に努めたい。



実質公債費比率の見通し(市ホームページ「財政見通し」より)